

とにかく、どこでも入ればいい！というのが親の本音であるのは確かだと思いますが、子供達は日中の殆どを保育施設で過ごす事になります。保育園のそもそもの「あるべき姿」とは、「家庭と同じような環境」であることです。民間企業の参入により、近年保育施設であらゆるサービスが導入されてきているものの、保育施設とは「児童福祉施設」である事を私達保護者は忘れてはいけないと思います。それは親のための施設ではなく、あくまでも子供のための施設であるという事です。

ポイント① 「通えそうな保育園は全て見学する」

自宅から通勤までのルートをいくつか立てて、そのルート範囲にある保育園を全て候補園とする。なるべく徒歩だけではなく、自転車で動ける範囲を広げることも視野に入れる。

<例>徒歩の場合：自宅→最寄駅Aまでの間に保育園2園

自転車の場合：自宅→最寄駅Aまでの間に2園、最寄駅Bまでの間に3園で計5園、など。

見学を希望する場合、必ず事前に保育施設に電話をします。

11月～12月は4月の一斉募集に向けて見学が集中しますので、出来れば9月頃までに行くとゆっくり見学出来ます。

電話をし、見学希望であることを告げ、日程の調整をします。平日であればその日のうちに見学に応じてくれる施設も多いため、朝9時半までに電話をしてみましょう。

土曜日の見学は断られるケースが多いですが、もし土曜日にも利用する事が前提であればその旨を伝えて土曜日の見学もしたい旨申し入れてみると受けてくれる場合があります。

なるべく、子供達の姿を見るためには午前中（10～11時頃）の見学が良いでしょう。

子供達がお昼寝中（13～14時）の見学は子供の本来の姿が見られないため、避けましょう。

見学の際のお勧めは、園庭などで遊んでいる子供達の姿を少なくとも10分程度は

見ることです。案内されるがままにササッと退室して次へ行くのではなく、

保育士と園児がどのように接しているのかをじっくり見学してみましょう。

次に促されたら、「もう少し園庭の様子を見ていても良いですか？」など聞いてみて

納得行くまで見学することが大切です。

よっぽどの事が無い限り、迷惑だから困ると言われることは無いでしょう。

逆に断られてしまったり、「うちはそういう見学は困る」等言われてしまった場合は何か見られては困るものがあるのかもしれませんが。

大切な子が日中を過ごす園ですので、とことん見学する事をお勧めします。

また、雨の日の見学も可能な限りしてみましょう。

雨の日の園内での過ごし方など、いつもと違う雰囲気がかかります。

ポイント② 「外観の見た目より、施設の中の清潔感や保育士さんの雰囲気重視する」

新しく出来た保育園は確かに見た目は綺麗です。新しい設備も導入されています。

しかし、設備面の良し悪しはいくらでも保育士さんの雰囲気で変わると考えて下さい。

<チェック項目>保育士さんの平均勤務年数は？今年度の退職者とその理由は？

園内で明るく挨拶してくれるかどうか？子供達への接し方はどうか？

施設長の雰囲気はどうか？施設内は掃除が行き届いているかどうか？

施設内に花壇や生け花、観葉植物などが置かれているかどうか？

クラス内の掲示物から温かみを感じるかどうか？ など。

ポイント③ 「登降園時の保護者の様子も見学する」

園にもよりますが、保育園は朝8時半前後と17時半前後に送り迎えのピークがあります。

その時間帯の送り迎えをしている保護者の様子も下見しておくといいでしょう。

ポイント④ 「入園時の持ち物、準備するものを確認する」

出来ることなら、自主製作物は少ない方が良いでしょう！というのが本音ですが、

予め準備するものや作らなくてはならないものを把握しておくことで心構えが持てると思います。

ポイント⑤ 「開所時間などは事前に確認しておく」

園により開所時間や延長保育時間の扱いが違います。事前に確認をしておきましょう。